



2 学期を振り返る (その3) / 年青鵲課題研究プレ (共創セミナー)

本校の高校第一学年普通科では、「青峰探究」が週に1時間開講されています。到達目標は、以下の3点です。

- ・ 基礎実験演習を通して、物理・化学・生物に関する基本的な知識や技術を自分の興味・関心と結びつけて活用することができる。
- ・ レポート作成および相互評価を通して、自分が行った実験を他者に伝えるレポートを適切に書くことができる。また、他者が書いたレポートを読み、内容に対する建設的な意見を表現することができる。
- ・ セミナーや大学研修を通して、大学の学びや学習内容等を知り、適切に進路選択ができる。

基礎理科実験を行いながら、基本的な実験技術や実験レポートの書き方を学んだり、本校独自のキャリア教育プログラムで、自身のキャリアパスについて考えを深めたりしています。その中で、科学技術を生かして、現代社会の課題解決に貢献する企業などから講師をお招きして、現場の声を聴かせていただくプログラムが共創セミナーです。

今年度は、9月25日(木)に日本技術士会の大川様、福岡様からご講演いただきました。「技術士」は、産業経済、社会生活の科学技術に関するほぼ全ての分野(21の技術部門があります)をカバーし、先進的な活動から身近な生活にまで関わっている国家資格です。ちなみに、建設部門の二次試験合格率は10%前後。それだけ高い専門性が担保されている資格だと言えるでしょう。この講演会の様子は、佐賀新聞にも取り上げていただきました。

10月16日(木)には「株式会社大石膏盛堂」の伊藤様の講演でした。大石膏盛堂は、佐賀県鳥栖市に本社がある医薬品等の製造や販売を行っている企業で、肩こりや腰痛に痛みを和らげる貼り薬などの製品が有名です。ドラッグストアにも並んでいますので、知っている人も多いと思います。一般医薬品以外にも、医師の診断と処方に基づき使用される医療用医薬品も製造されており、さまざまな場面で使用されています。伊藤様は、本校のOGです。後輩のためにお忙しい中、時間をつくっていただきました。



講演の様子(技術士会)



謝辞(大石膏盛堂)